

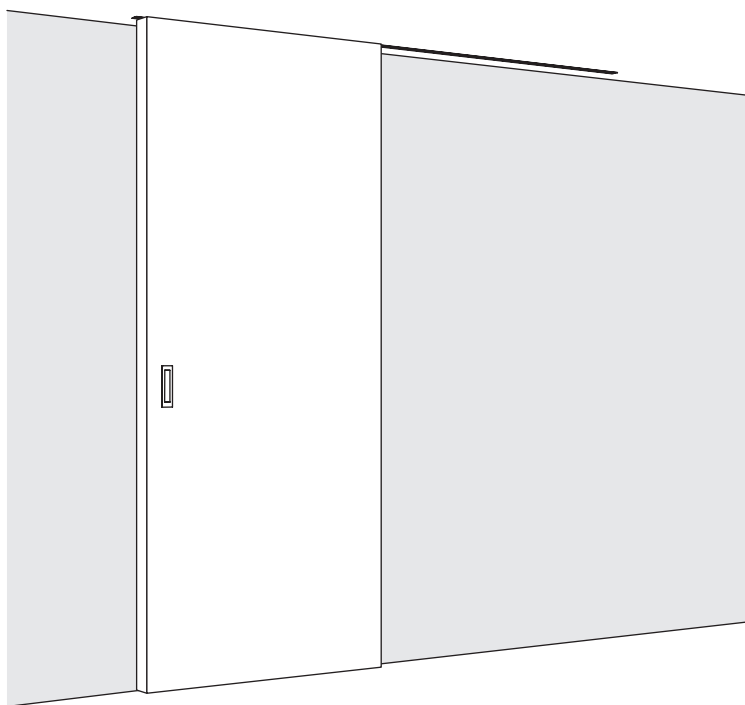
miratap

建具

ノッポ アウトセット引き戸 上吊タイプ

組立設置説明書 04-NOP07S-07

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。



●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



本商品は室内専用です。

屋外や浴室などの水がかり部分や他の用途へのご使用はおやめください。



扉や枠セットの保管は、湿気や直射日光の当る場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。



枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。



施工後は、キズや汚れを防ぐために、養生材等で養生してください。



枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。

やむを得ず直付けする場合は、枠材木口と下地面の間に、必ず防水処理をしてください。



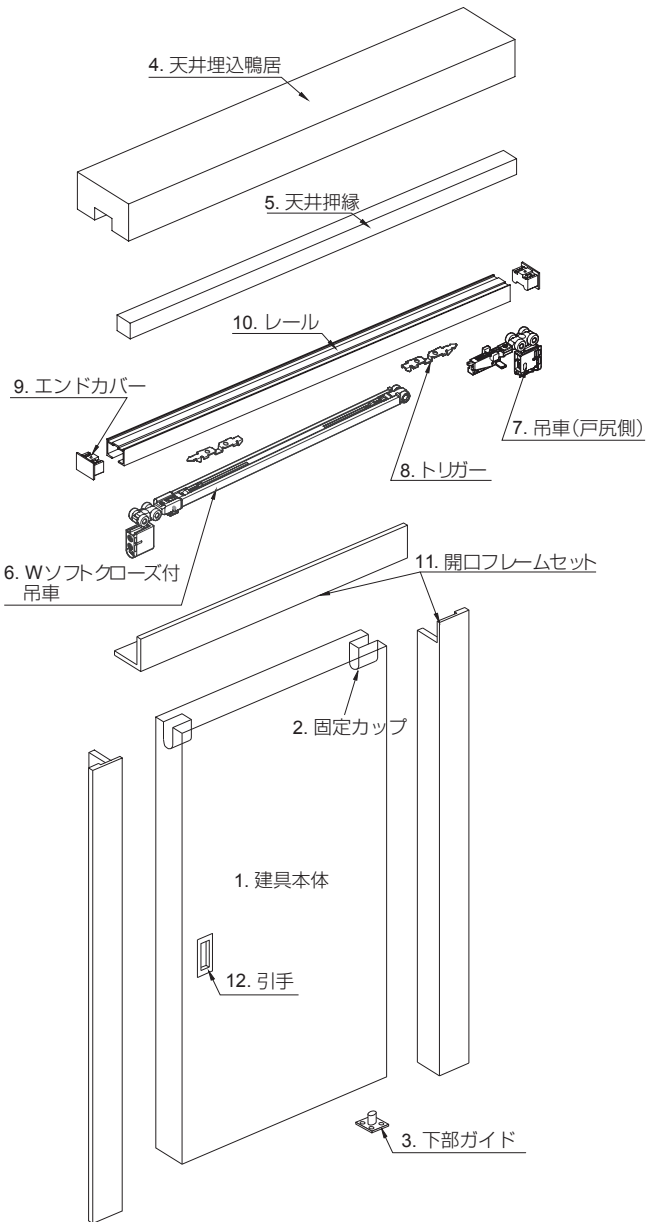
扉や枠が汚れている場合は、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。



枠の組立てには、同梱のビス・ネジを使用してください。

他のビス・ネジを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。

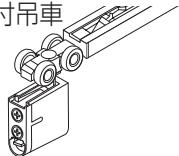
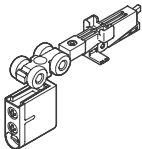
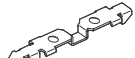
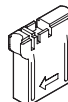
1 全体図



《扉》

番号	名 称	数量
1	建具本体	1
2	吊車固定カップ（取付済）	2

《杵》

番号	名称	数量
3	下部ガイド  取付けビス $\phi 3.5 \times 20$	1 4
4	天井埋込鴨居 天井埋込鴨居固定ビス $\phi 4.2 \times 65$ 	1 W713:6本 W813:6本 W913:7本
5	天井押縁 天井押縁小口シール	1 1セット
6	Wソフトクローズ付吊車 	1
7	吊車(戸尻側) 	1
8	トリガー  取付ビス $\phi 4.0 \times 16$ 治具 	2 4 1
9	エンドカバー 取付ビス $\phi 3.5 \times 25$	2 2
10	レール(同梱) スペース レール取付ビス 皿ビス $\phi 3.5 \times 50$ 	1 1 W713:6本 W813:6本 W913:7本
11	開口フレームセット ※フレームなしタイプの場合は付属していません。	縦用 2 横用 1

※上記数量は必要数量です。ビス・ビスキャップは上記数量より多い場合があります。

《引手》

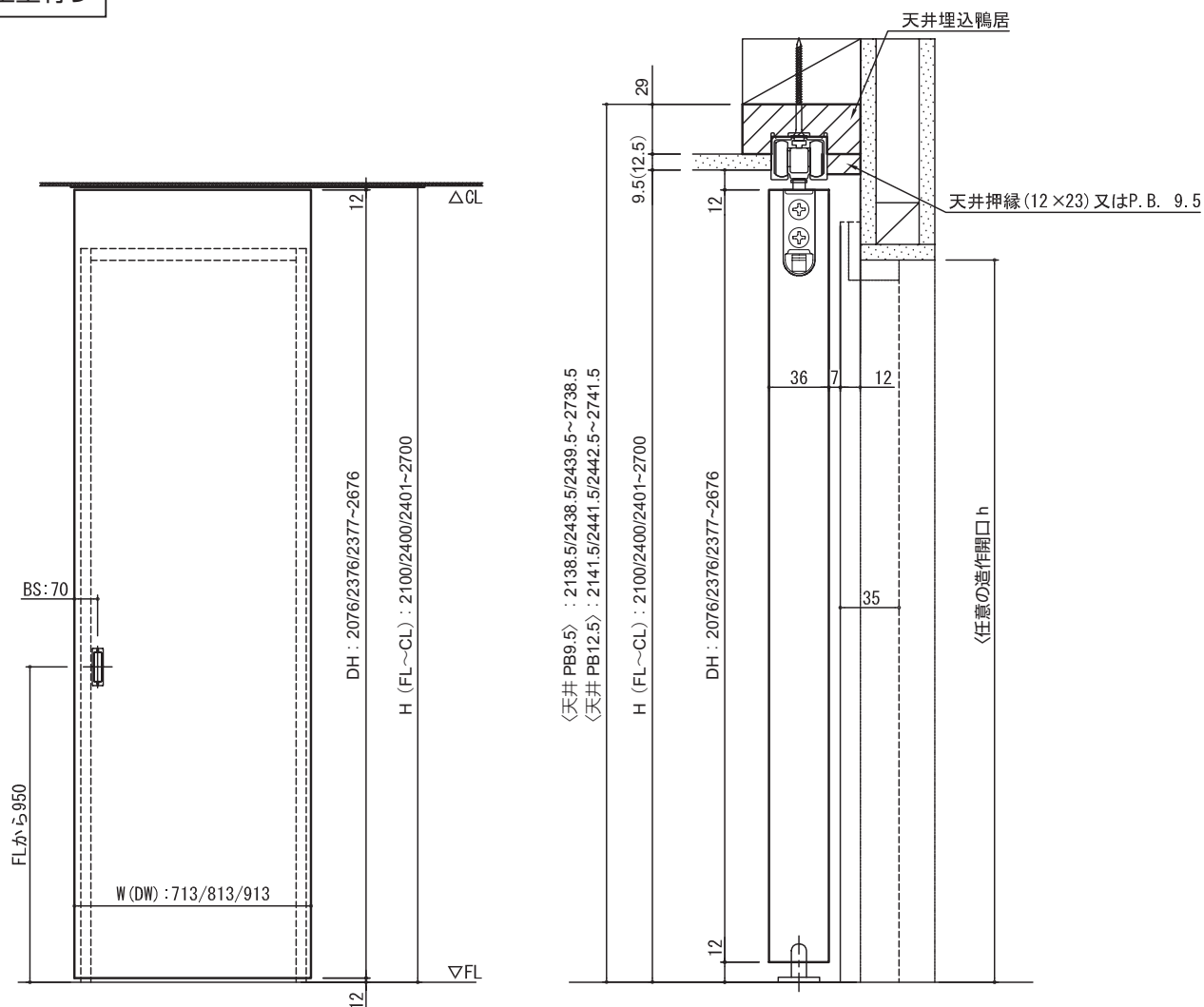
番号	名 称	数量
12	引手	1

《その他》

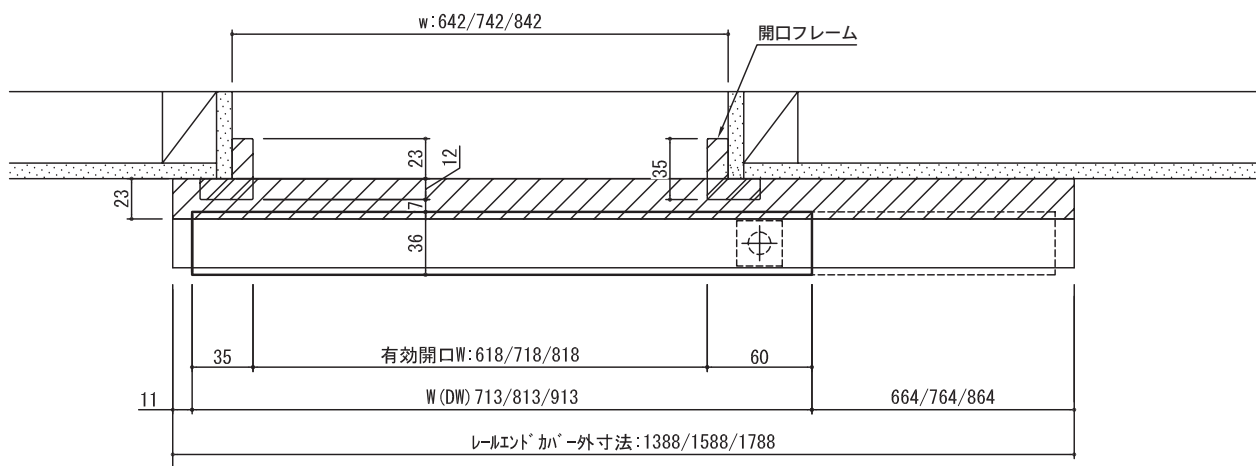
番号	名称	数量
13	組立設置説明書(本紙)・取扱説明書 ※取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。	各1

2 寸法図 開口フレーム(有)

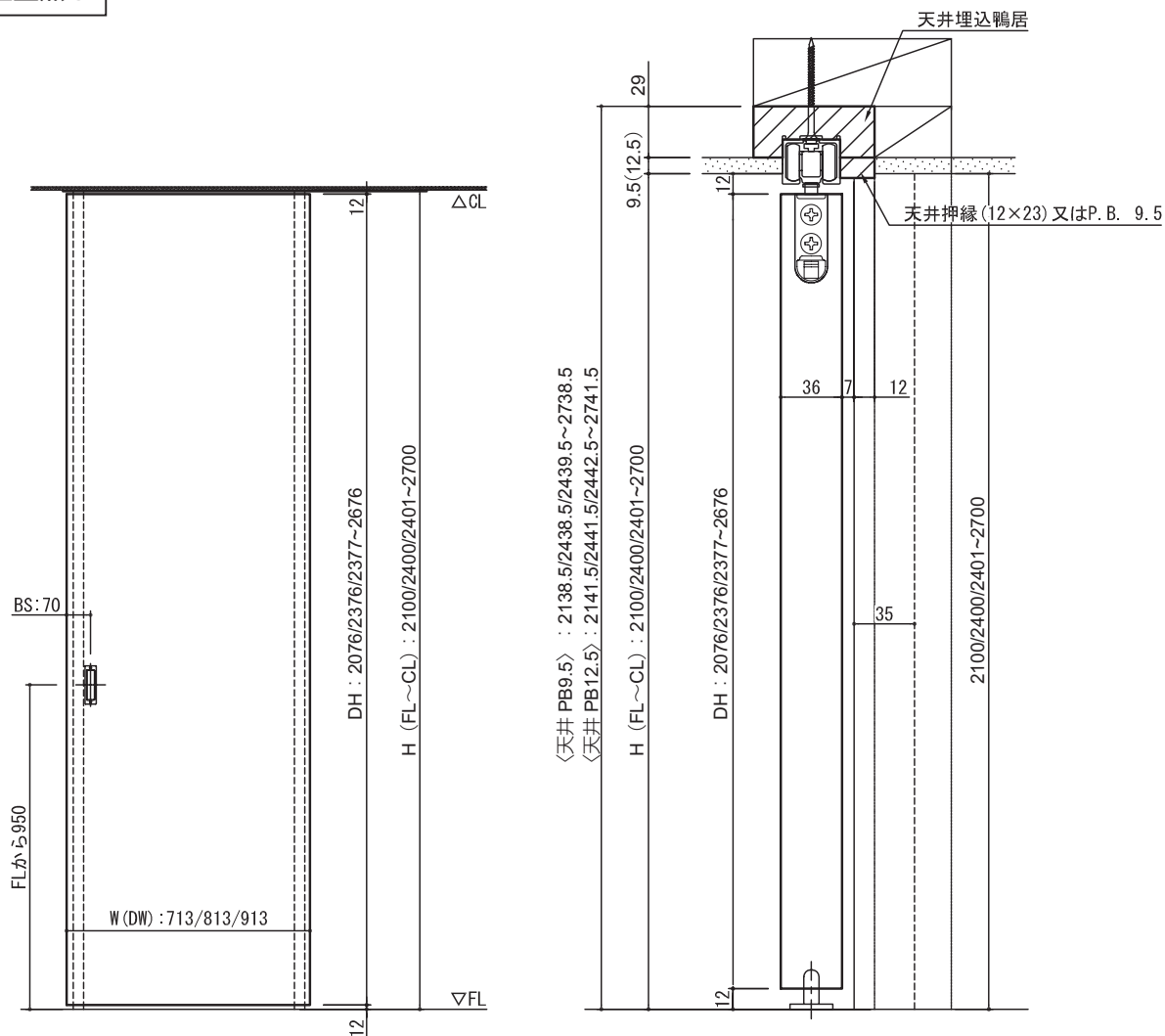
垂壁有り



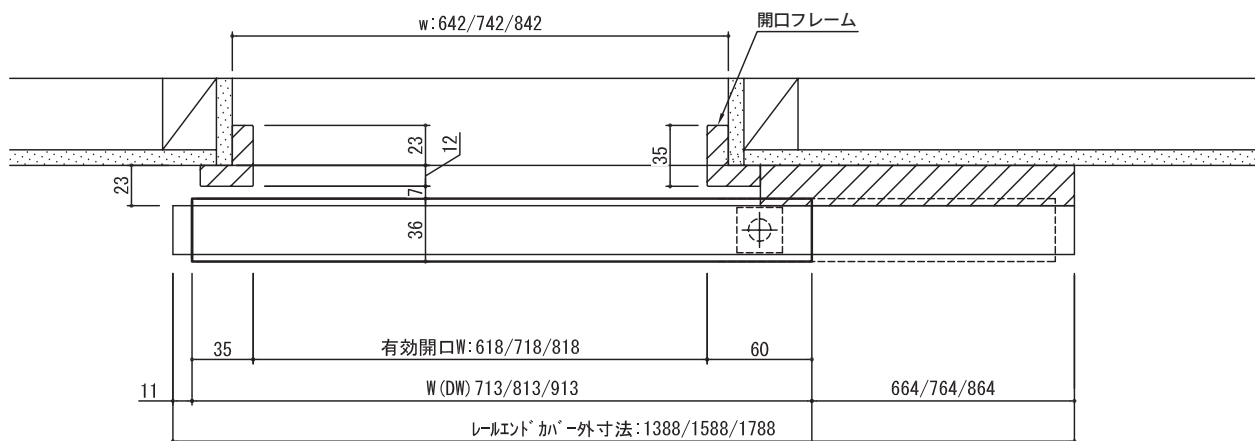
※ H2401~2700mmは特注扱いとなります。



垂壁無し

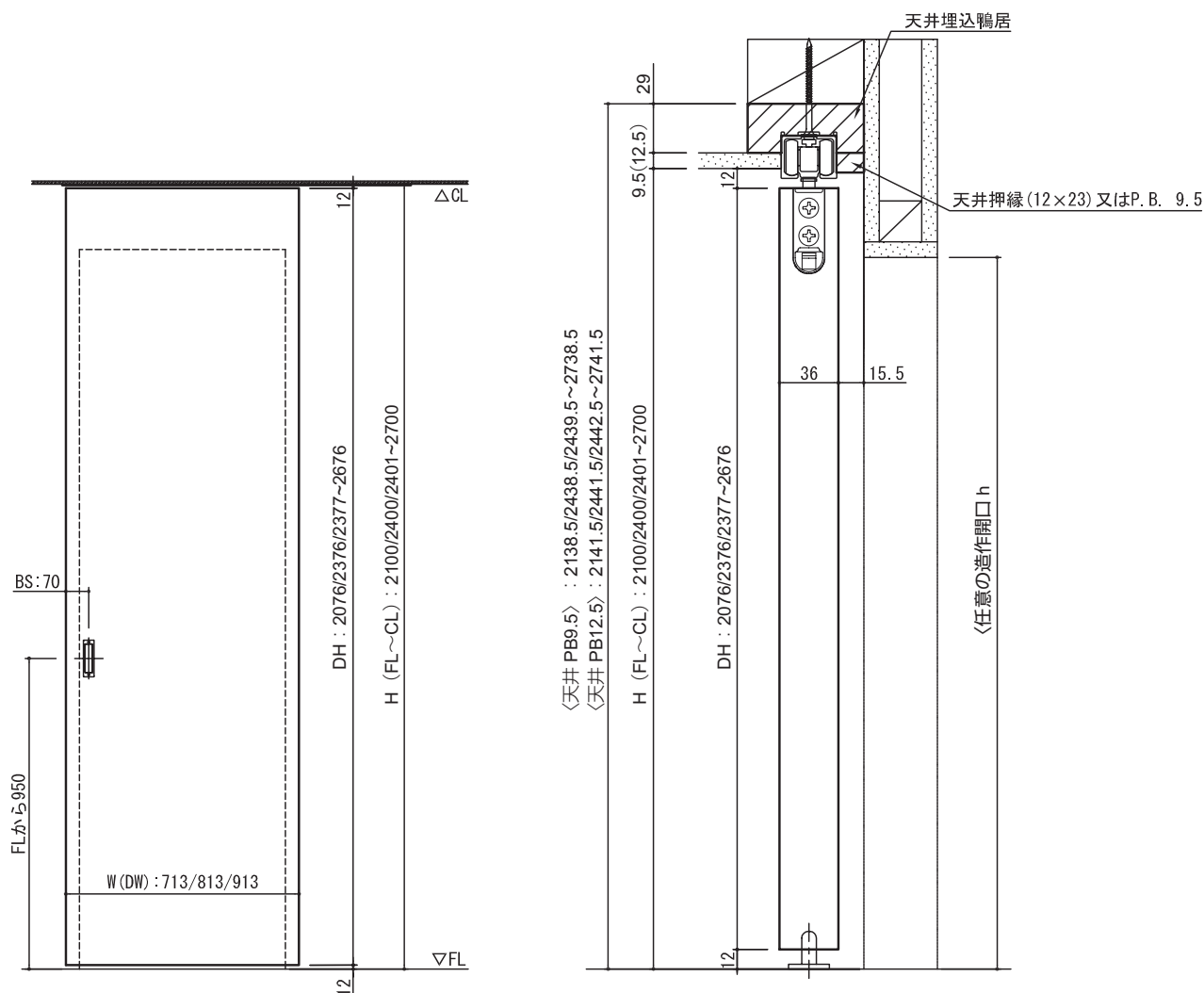


※ H2401~2700mmは特注扱いとなります。

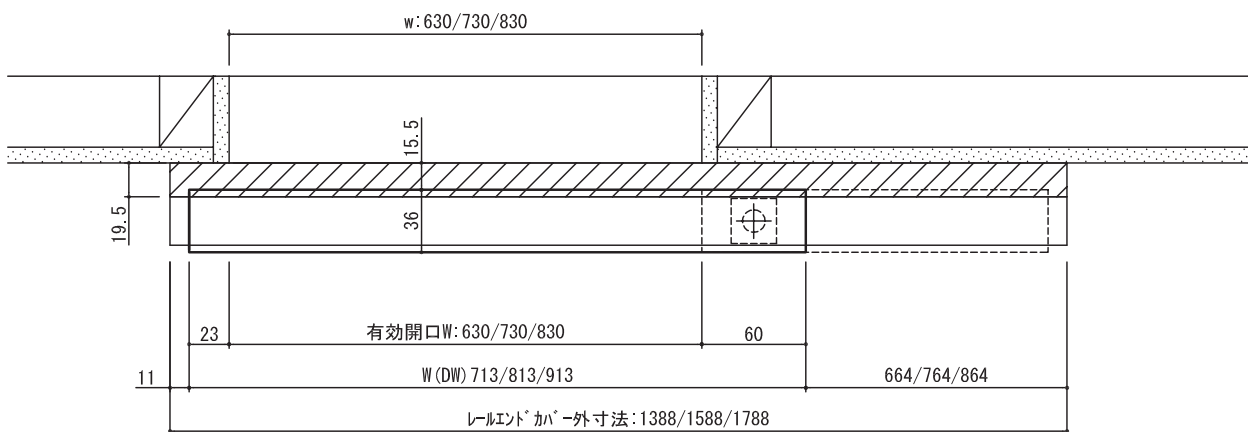


3 寸法図 開口フレーム(無)

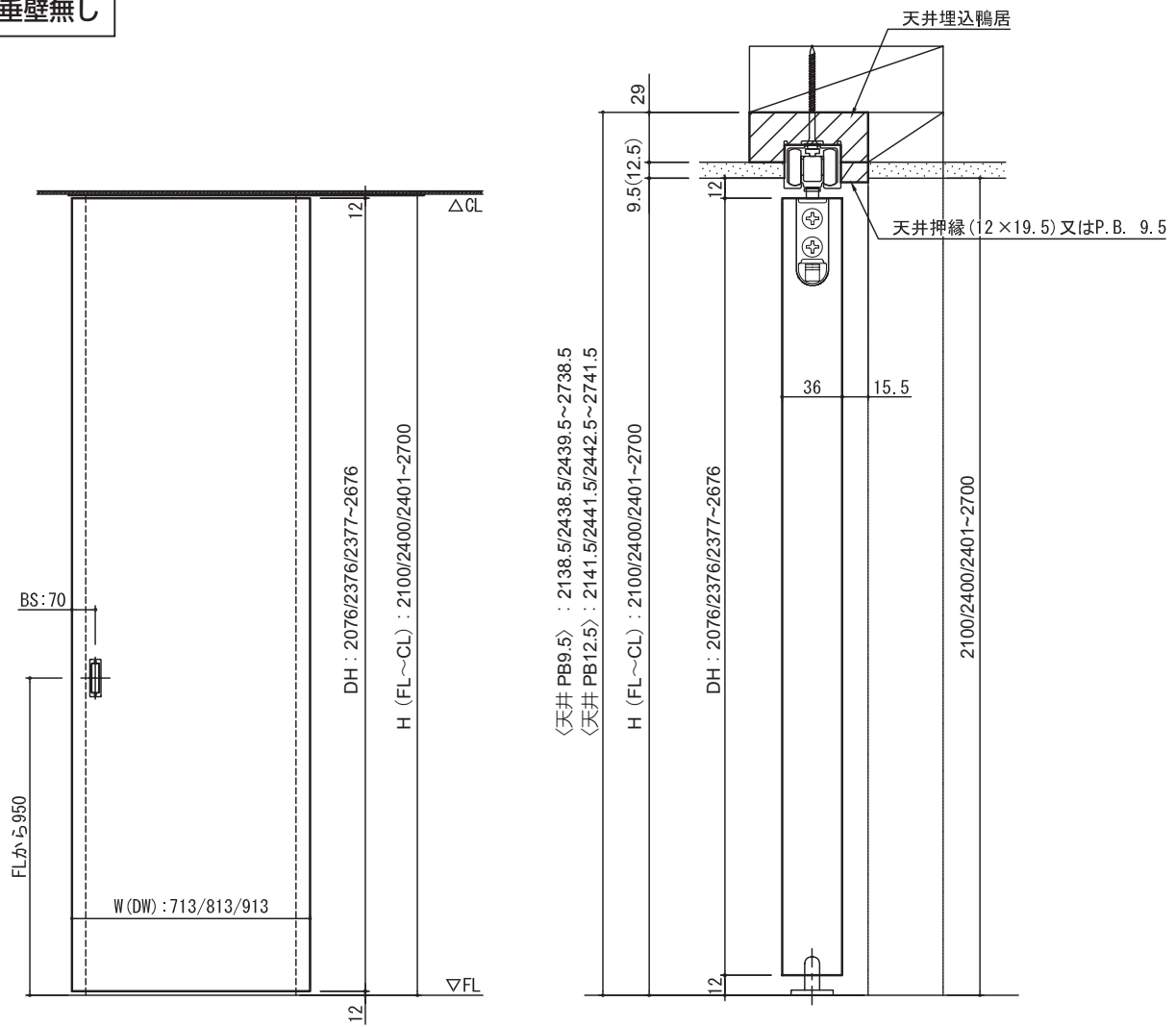
垂壁有り



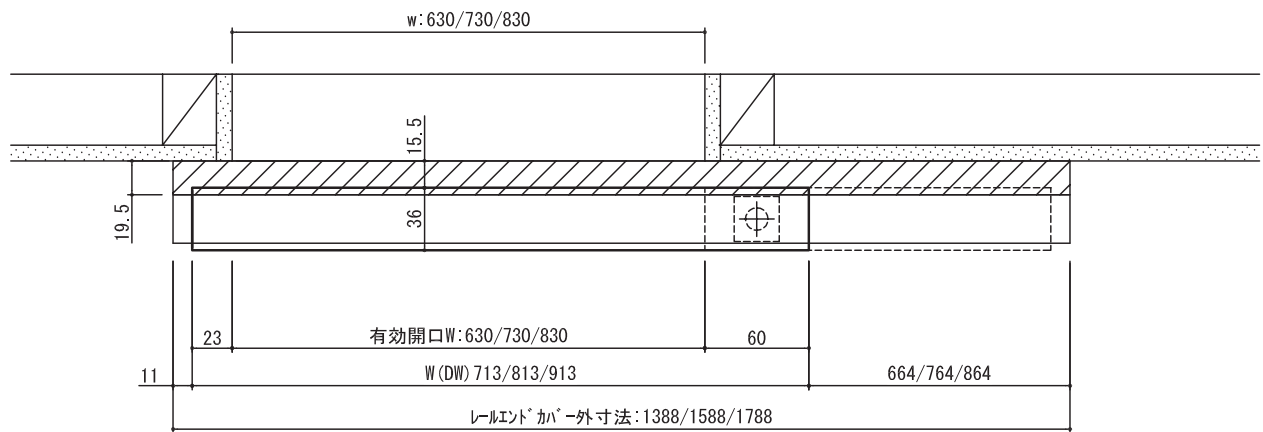
※ H2401~2700mm は特注扱いとなります。



垂壁無し

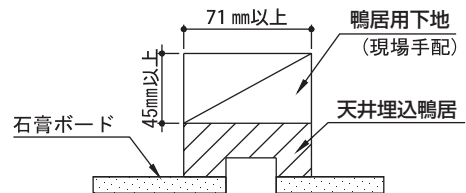


※ H2401~2700mm は特注扱いとなります。



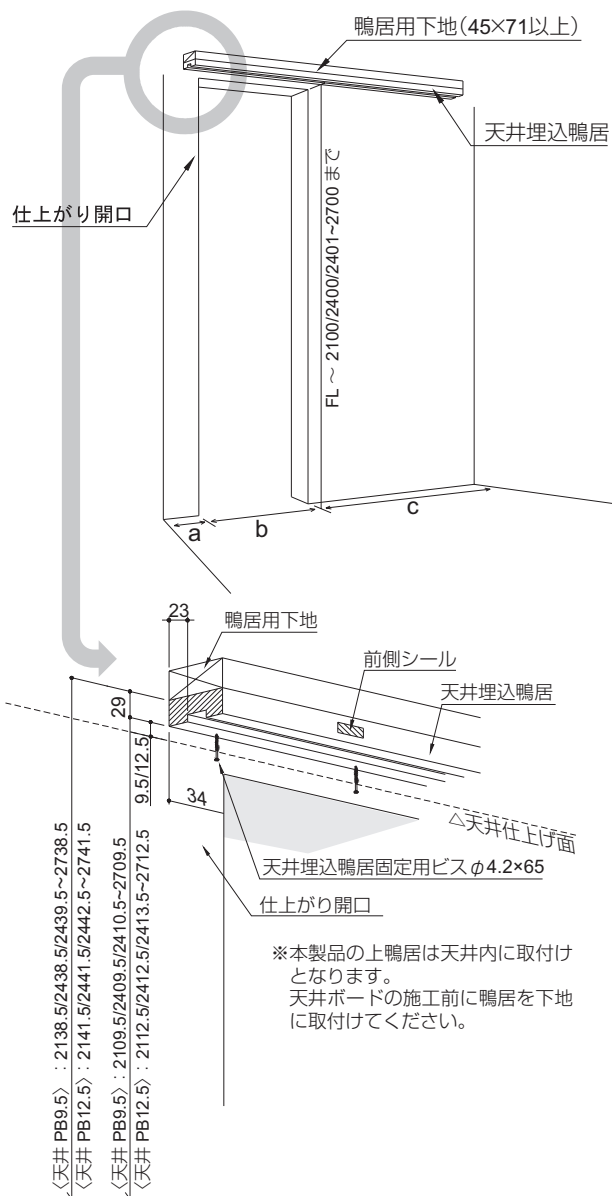
4 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 扉は上吊り式です。鴨居用下地は必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。
(ガラスタイプの最大サイズ (H2400W813) で建具重量27Kgとなります)
(H2700W813〈特注対応品〉の場合は、建具重量31Kgとなります)
- 梁に強度がないと上枠が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できません。
- 本製品の鴨居は天井内に取付けとなります。天井ボードの施工前に鴨居を下地に取り付けてください。
- 下枠・沓摺が必要な場合は現場手配してください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器等でよく確認してください。
- 天井押縁のご利用方法
レールと壁面の隙間埋め用部材に押縁をご用意しております。高さは現場で調整してお使い下さい。



5 天井埋込鴨居の施工

鴨居用下地と開口の確認



施工前の確認：

- －仕上がり壁の状態で、a、b、cの寸法がそれぞれ十分とれているかご確認ください。
- －巾木を取付ける場合は、aとcの寸法に巾木の厚みを加算しクリアを取ってください。
- －鴨居用下地材はビス保持力のある材料を使用し、強度のある梁から吊束等でしっかりと固定されていることを確認してください。

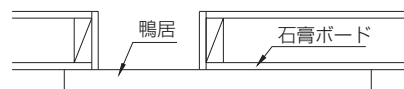
開口フレーム	W 呼称	戸先側	開口	戸尻側
		a	b	c
有	W 713	40 以上	642	718 以上
	W 813		742	818 以上
	W 913		842	918 以上
無	W 713	40 以上	630	730 以上
	W 813		730	830 以上
	W 913		830	930 以上

注：開口フレームの有無で開口寸法（b）が変わります。

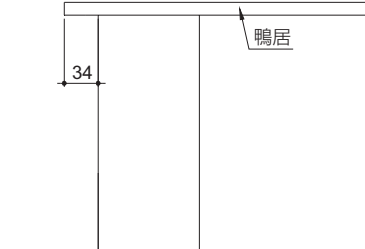
開口H寸法は最大天井高（2400mm）までとなります。

※ H2401~2700mmは特注扱いとなります。

（上部）

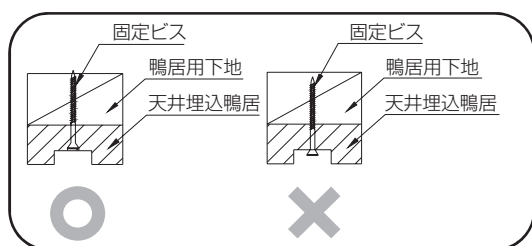


（正面）

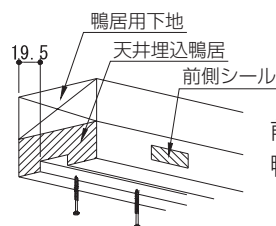


鴨居の施工：

- －鴨居の施工は天井を施工する前に取付けを行います。
- －鴨居取付位置は、右図参考の上、位置だしを行い取付けてください。
- －取り付ける鴨居には向きがあります。鴨居に貼付けてある“前側”シールをご確認ください。
- －鴨居の固定は同梱のビスにてしっかりと固定してください。ビスの頭は鴨居溝内に飛び出ないように取付けてください。



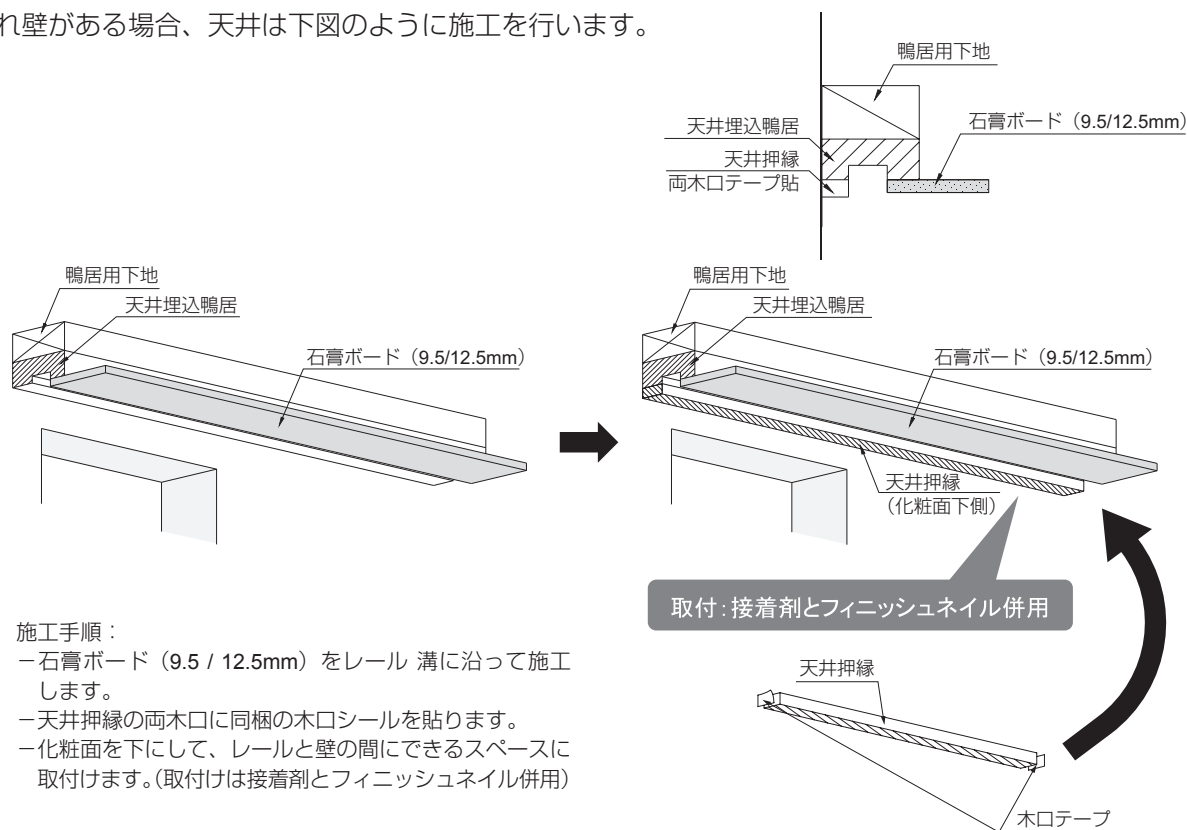
補足 開口フレーム無しの場合



前側シールが手前側になるよう鴨居を取付けてください。

6 石膏ボードの施工(天井面)、天井押縁の取付け

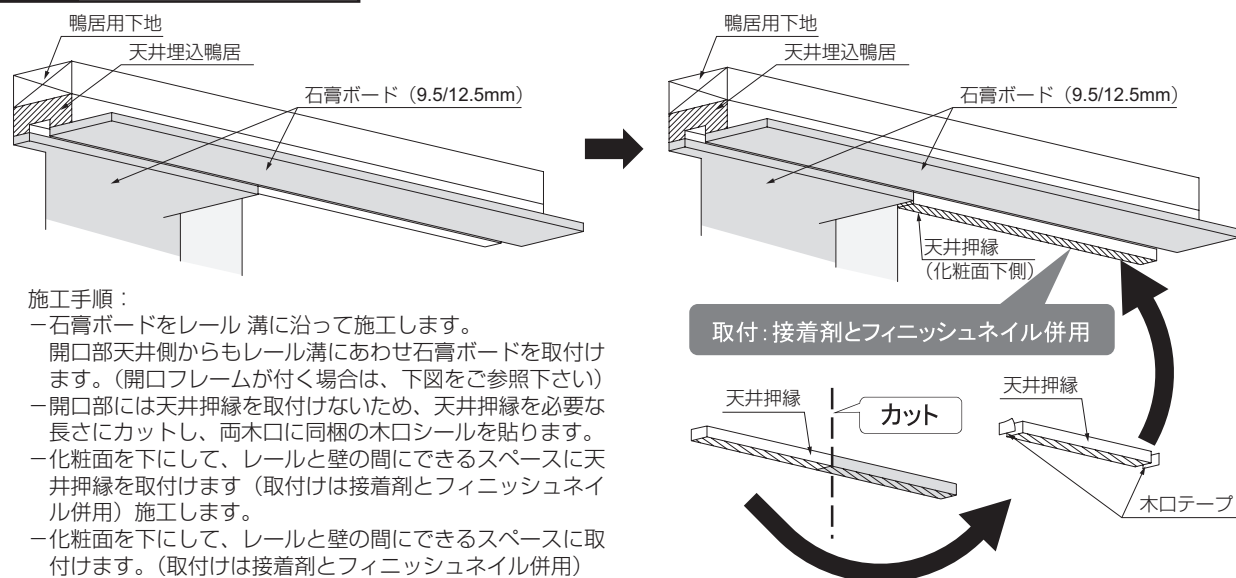
垂れ壁がある場合、天井は下図のように施工を行います。



施工手順：

- －石膏ボード（9.5 / 12.5mm）をレール 溝に沿って施工します。
- －天井押縁の両木口に同梱の木口シールを貼ります。
- －化粧面を下にして、レールと壁の間にできるスペースに取付けます。（取付けは接着剤とフィニッシュネイル併用）

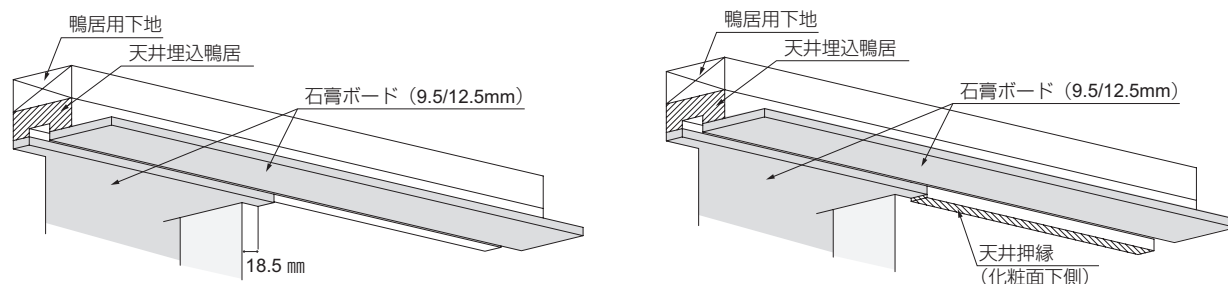
補足 垂れ壁無しの場合



施工手順：

- －石膏ボードをレール 溝に沿って施工します。
- 開口部天井側からもレール溝にあわせ石膏ボードを取付けます。（開口フレームが付く場合は、下図をご参照下さい）
- －開口部には天井押縁を取付けないため、天井押縁を必要な長さにカットし、両木口に同梱の木口シールを貼ります。
- －化粧面を下にして、レールと壁の間にできるスペースに天井押縁を取付けます（取付けは接着剤とフィニッシュネイル併用）施工します。
- －化粧面を下にして、レールと壁の間にできるスペースに取付けます。（取付けは接着剤とフィニッシュネイル併用）

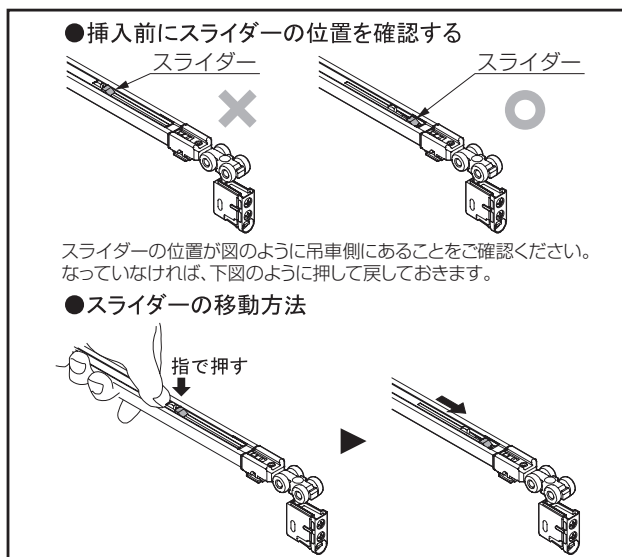
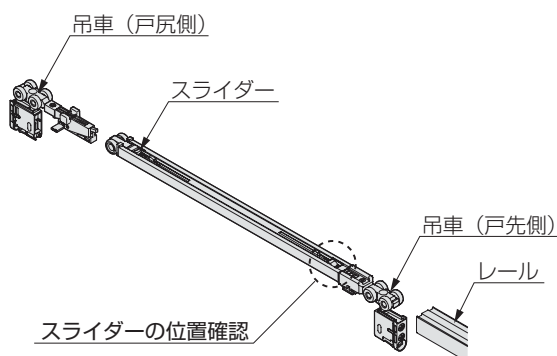
開口フレームが付く場合



開口フレームが取付く部分にも石膏ボードを取付けて下さい。（開口より18.5mm）

7 吊車の挿入

下図の納まりを確認し、上レールに吊車を挿入してください。

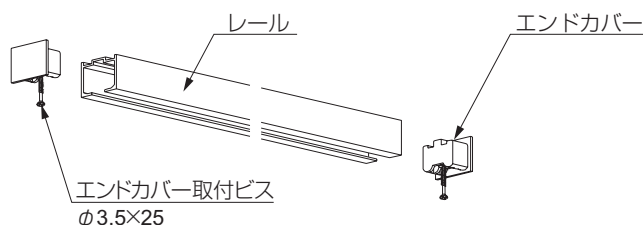


ポイント

ソフトクローズが効かない状態で製品を使用する場合、急激な開閉によって建具金物が破損する恐れがあります。必ずご確認ください。

8 エンドカバーの挿入

レールの両サイドにエンドカバー（ビス付き）をはめ込んでください。

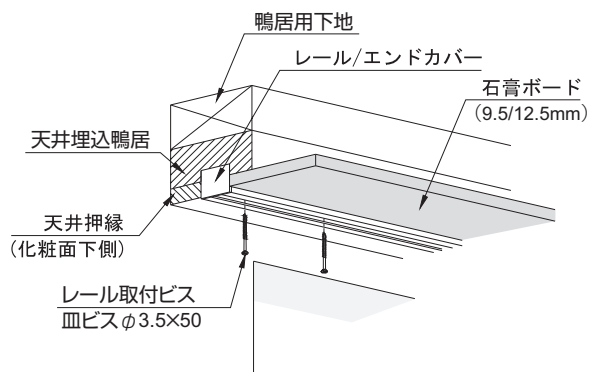


9 レールの取付け

鴨居の溝にレールをはめ込みレール取付ビスで固定してください。

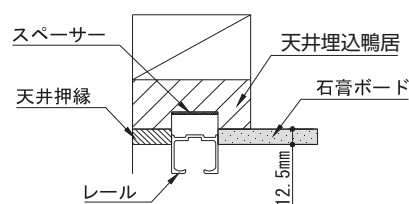
エンドカバー用ビスも締め、固定してください。

※吊車はレールに挿入したまま取付けます。



ポイント

天井面の石膏ボードが 12.5mm の場合

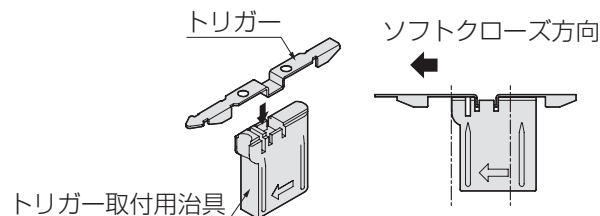


レール取付け前に、同梱のスペーサーを取付けてください。

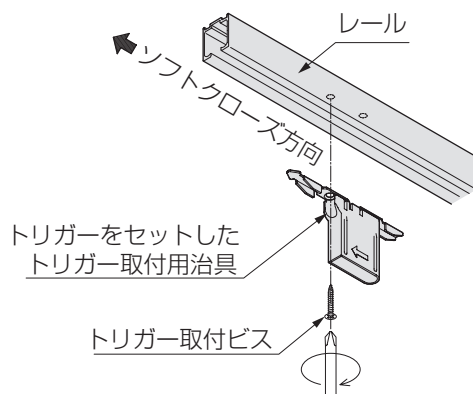
10 トリガーの取付け

- ・トリガーは戸先側と戸尻側の2ヶ所に取付けてください。
- ・トリガーの取付位置（どの穴に取付けるか）はレール本体に貼り付けられているシールを参照ください。

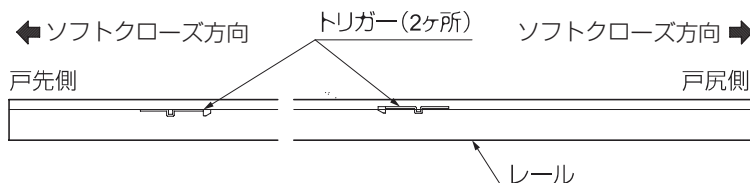
①トリガーをトリガー取付治具にセットします。



②レール穴に取付用治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、取付ビスでトリガーを固定します。

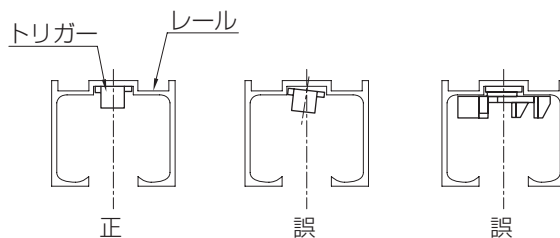


③完全に固定されたら取付用治具を下に引き抜き、ビス固定してください。



- ※トリガーをレールに2ヶ所取付けてください。
- ※トリガーの向きに注意してください。

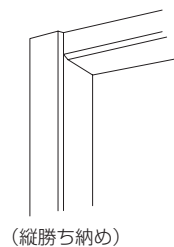
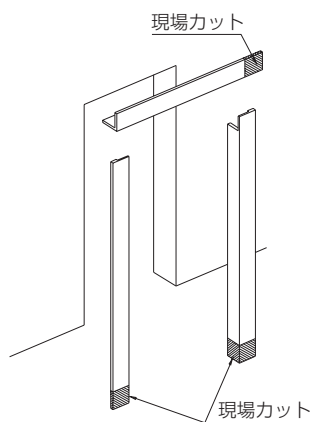
- ※治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- ※トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。
- ※必ず手回しドライバーで締め付けてください。



※トリガーが溝に入っていない状態でネジを締め付けると、トリガーが変形し、扉の開閉ができなくなるおそれがあります。

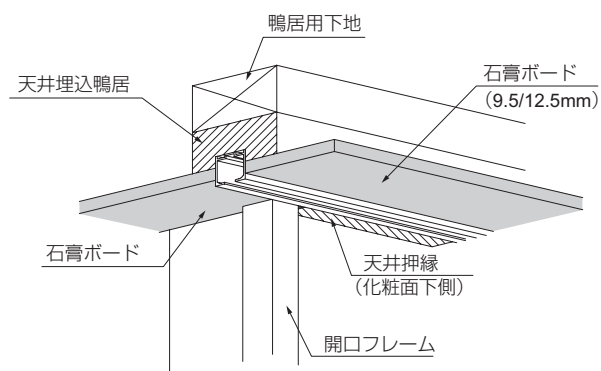
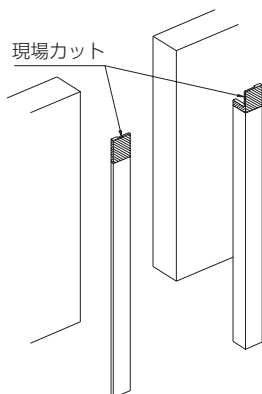
11 開口フレームの取付け

開口フレームの下部を現場でカットし取付けてください。



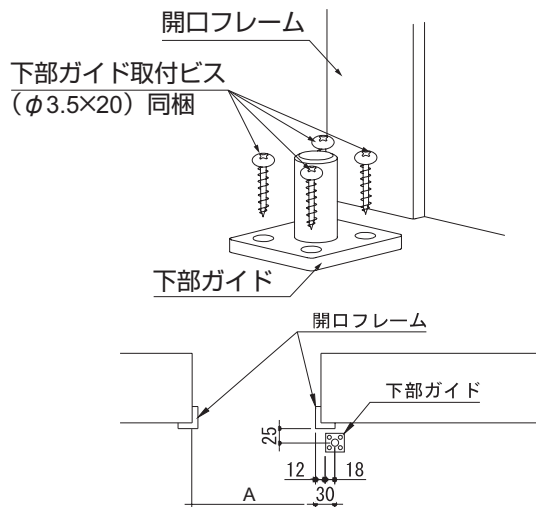
※開口フレームを取付けない場合、
この作業はありません

補足 垂れ壁無しの場合

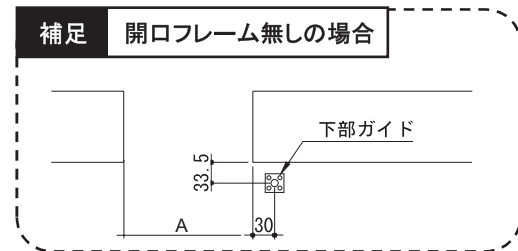


12 下部ガイドの取付け

下図の納まりを確認し、下部ガイドを固定してください。

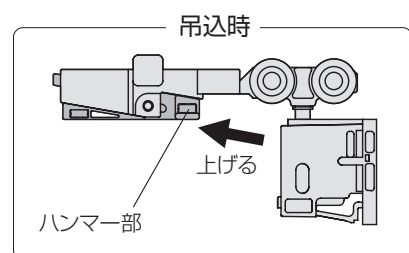
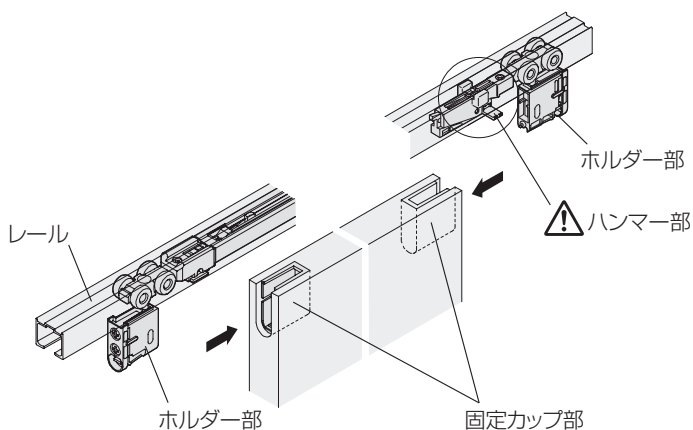


建具 W 寸法	W713	W813	W913
A 寸法	630	730	830



13 扉の吊り込み

- ①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差し込みます。
 - ②吊車は固定カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。
 - ③吊車はハンマー部を上から上げてから、固定カップ部にホルダー部をしっかりと差し込みます。
- ※しっかりと差し込み、抜けないことをご確認ください。



ポイント

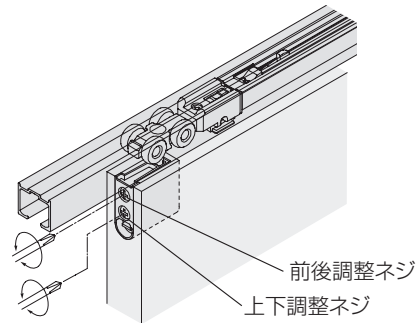
ソフトクローズ機構を正常に作動させるため、必ず初回の動作確認を行ってください。

14 吊車の調整

《上下方向の調整・調整範囲±2.5mm》

《前後方向の調整・調整範囲±2mm》

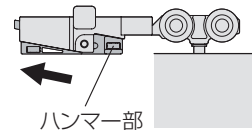
扉を吊ったままで、ホルダー部の上のネジを回すと戸の前後調整、下のネジを回すと扉の上下調整ができます。



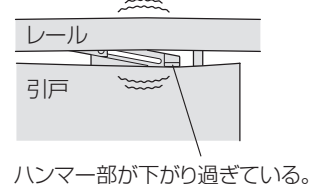
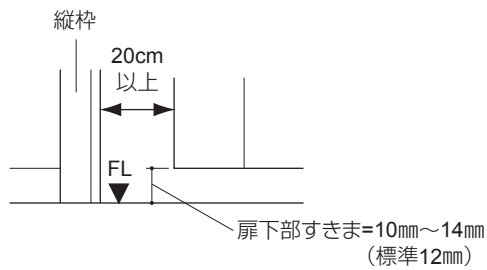
- 吊車で調整しきれない場合は再度枠の水平・垂直を確認し手直ししてください。
- ソフトクローズ付の場合、ソフトクローズの速度調整は出来ません。
- 調整は必ず手回しドライバーを使用してください。



- 吊車を上下調整する場合は、ハンマー部を斜め上にスライドさせてから調整し、調整後にハンマー部を下ろしてください。
- 戸の開閉操作が重い場合は、ハンマー部を少し上げてください。

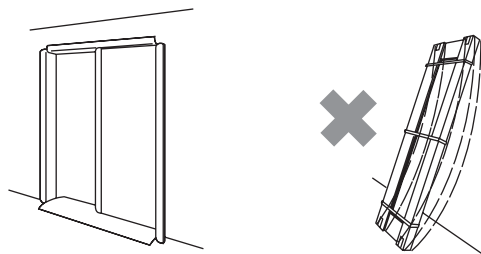


※吊車の調整は、扉を20cm以上開いた状態で行ってください。



15 養生

工事が完成するまで扉・枠を養生材などで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。



- ※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。
- ※扉は梱包材に再度入れ、平積み保管してください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

